

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市学校給食協会
-----	-------------------

所管課	教育委員会 学校保健課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。</p> <p>②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3~5年後に 目指す状態	<p>食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。</p> <p>また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
重大事故による給食の提供中止	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地場産物の使用割合 (品目比ベース)	37.5%	38.1%	38.1%	39.0%	前年比増	42.1%		
地場産物の使用割合 (重量比ベース)	16.3%	16.0%	13.0%	19.8%	前年比増	18.7%		

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）			
団体 における 評価	<p>食材の選定・検査を適切に実施し、重大な事故を招くことなく、安定的に食材供給を行うことができた。</p> <p>また、地場産物の使用割合については、品目比ベースは前年度を上回ったが、重量比ベースは少し下回った。</p> <p>ミッションは一部達成できなかった。</p>	市の評価	<p>関係機関との調整を緊密に行い、食材供給の安定性を維持し、安全・安心な学校給食の実現を達成した。</p> <p>一方で、新型コロナウイルスの影響によりミッションが一部達成できなかった。今後は地場産物使用強化のタイミングを見計らうことが重要となる。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		団体への改善指導内容（案）
	<p>令和元年度は、3月に旬の市内産野菜を使う予定だったが、新型コロナウイルスの影響で休校となり、使用率が下がった。</p> <p>今後も、食材の安定的な供給を目指すとともに、学校給食用物資地産地消推進協議会において地場産物を学校給食用に提供できるよう協力を依頼していく。</p>		<p>新型コロナウイルスの影響が長期化する見込みであり、食材の安定性が不安視される中、学校給食における供給を維持するため、今後も食材選定及び検査の適切な実施、関係機関との緊密な調整や協力要請を確実にし、安全かつ充実した学校給食の実現に努めていただきたい。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を資した食材の積極的供給（市内産、県内産、九州産、国産の順で選定を行う） ・個々の知識や能力向上のための職員研修の実施 	